

# JSS 北海道 第9回地方会

実行委員長 田村 悅哉 (帯広協会病院)  
主催 JSS 北海道地方会・日本超音波検査学会

JSS 北海道第9回地方会では、超音波講演会を下記のように北海道帯広市にて開催いたします。

今回のテーマは「Ladys echo ~女性に多い疾患を中心に~」です。最近、女性専用外来や Ladys Clinic など多く耳にするようになり、性差に着目した医療の必要性が指摘されてきています。女性特有の疾患といっても婦人科疾患に限らず、乳がんを含めた乳腺疾患、甲状腺疾患、膠原病、その他の内科疾患などさまざまです。今回は、腹部、乳腺、婦人科領域別に女性患者の超音波検査を行う際に知っておくべき疾患、注意すべきポイントや有用性などを総合的に学びます。

第I部は一般演題発表を行います。第II部は、腹部領域における女性に多い急性腹症を中心に超音波所見とその解釈についてご講演していただきます。第III部は、乳腺超音波検査において腫瘍を見つける時にその超音波像をどう捉えるか、超音波画像のカテゴリー分類と病理組織を対比してご講演頂きます。第IV部では、頻度の高い婦人科疾患の臨床をわかりやすく解説していただき、臨床が経腹超音波検査に求める所見とそのポイントについてご講演していただきます。

以上のように、明日からの女性患者の超音波検査に役立つ内容で講演・討論を企画しております。今回JSSでは6年ぶりの帯広市での開催です。北海道地区のみならず全国からの皆様の多数のご参加をお待ちしております。

## 記

テーマ：『Ladys echo ~女性に多い疾患を中心に~』

日 時：2008年9月27日（土）14時00分～18時00分（受付：13時00分～）

会 場：とかちプラザ 2F 視聴覚室

参加費：正会員（事前登録）：1,000円

正会員（当日受付）：1,500円 非会員（事前登録なし）：3,000円

ご注意：\*事前登録制を導入しています。

受付期間：8月20日～9月3日（※8月13日～WEB先行受付）

定員：130名

※変更となる場合もあります。詳細は学会ホームページ（<http://www.jss.org>）をご参照ください。

\*事前登録は登録時点での入会が承認されている会員の方のみご利用が可能です。

非会員の方や入会手続中の方はご利用いただけません。

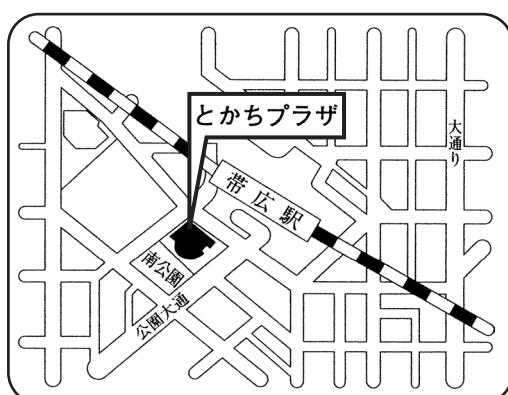
\*事前登録の方のみで定員に達した場合は、未登録の方の当日ご参加はお受けできません。

\*事前登録で空席がある場合にのみ当日のご参加をお受けいたしますが、受付開始は事前登録の方を優先させていただきます。

\*地方会ご参加の方は事前登録の有無に関わらず、会員証をご持参ください。

\*会場内でのビデオカメラおよびデジタルカメラでの撮影は禁止といたします。

\*本会は、日本超音波医学会認定の検査士資格更新、5単位が取得できます。



## とかちプラザ 視聴覚室

北海道帯広市西4条南13丁目

□JR 帯広駅南側出口より徒歩3分

連絡先：〒080-0805 北海道帯広市東5南9-2

帯広協会病院検査科 田村 悅哉

TEL: 0155-22-6600 E-mail: tamura@jss.org

（できるだけメールでお願いいたします）

## JSS 北海道 第9回地方会 プログラム

9月27日（土）

13:00～13:50	受付
13:50～14:00	開会挨拶・オリエンテーション
14:00～14:40	<b>第I部 一般演題</b> 司会：神幸二（NTT東日本札幌病院臨床検査科） 演題1「micro pureの使用経験について」 高田裕美子（帯広協会病院） 演題2「女性の停留精巣に発見されたセミノーマの一症例」 三森太樹（札幌徳洲会病院） 演題3「マンモグラフィーと乳腺超音波検査カテゴリー分類の比較検討」 加賀輝美（帯広協会病院） 演題4「乳腺腋窩尾部から発生し、副乳癌との鑑別が困難であった乳頭腺管癌の1例」 高橋智子（勤医協札幌病院）
14:40～15:40	<b>第II部 『女性に多い腹部領域の急性腹症と超音波所見』</b> 講師：清水安子（東海大学医学部付属大磯病院中央臨床検査科） 司会：田村悦哉（帯広協会病院臨床検査科） 腹部～骨盤腔領域において女性に多い急性腹症の超音波所見を供覧、解説していただきます。また、各疾患の超音波検査時の注意ポイントと描出のコツについてご講演いただきます。
15:40～15:50	休憩
15:50～16:50	<b>第III部 『乳腺疾患の超音波画像～病理組織の対比とカテゴリー分類について～』</b> 講師：白井秀明（札幌こども乳腺クリニック理事） 司会：戸田康文（旭川厚生病院放射線技術部門） 乳腺エコーで腫瘍を発見した時、この腫瘍をどう捉えるべきか、超音波画像と病理組織を対比して解説していただきます。また、このたび改訂されたJABTSのカテゴリー分類についてもあわせてご講演いただきます。
16:50～17:00	休憩
17:00～18:00	<b>第IV部 総論『婦人科疾患の臨床と体外式超音波検査の有用性』</b> 講師：蝦名康彦（北海道大学大学院医学研究科 生殖・発達医学講座 生殖内分泌腫瘍学分野 助教） 司会：西田睦（北海道大学病院診療支援部検査輸血部） 日常学ぶ機会が少ない領域ですが、女性の骨盤腔領域の超音波検査を施行する際には婦人科疾患を必ず念頭において検査を施行すべきです。また現在婦人科臨床では経腔超音波検査が主に施行されていますが、スクリーニング目的の経腹超音波検査にて婦人科疾患に遭遇する機会も稀ではありません。そこで今回は医師の立場から、経腹超音波検査でみつかる頻度の高い婦人科疾患の臨床をわかりやすく解説していただき、臨床の立場で経腹式超音波検査に求める所見とそのポイント、注意点についてご講演して頂きます。